

島大エコ新聞11月号



1,環境フェスティバル

2,ペットボトルキャップ回収

3,ラーコモカフェ

4,キャンパス内落ち葉清掃報告

5,冬季節電の取組実行計画

6,最後に

2019年もあと少し

やり残したこと、ないですか？



1.環境フェスティバル

11月4日にくにびきメッセで開催された”環境フェスティバル”に学生EMS委員会も参加してきました。当委員会は「植物」をテーマとするブースを出展し、クイズ形式の企画を行いました。そして、クイズに参加してくださった方には参加賞として委員お手製の折り紙をプレゼントさせていただきました。

他のブースもとても興味深い企画が多く、また全体では豪華景品が当たる抽選会などが催され、とても楽しかったです。是非皆さんも来年参加されてみてはいかがでしょうか。



2. ペットボトルキャップ回収

皆さんはペットボトル回収BOXが大学構内に設置されているのをご存じですか？

実は、**大学会館・ニコラ1F.2F・第二体育館前・総合理工学部前リサイクルステーション**に設置されています。

しかし、ごみ箱を覗くと分別されず捨ててあるものがまだまだたくさん見られました。

正しいリサイクルによる社会貢献のためにペットボトルキャップの回収にご協力をお願いいたします。



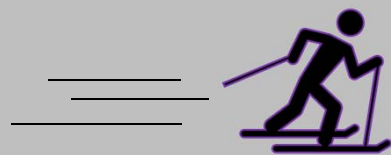
3. 学生EMS大会議・ラーコモカフェ

学生EMS委員会ってどんな活動をしてる組織か知っていますか？

当委員会は2020年1月8日水曜日15時から島根大学附属図書館、ラーニングコモンズ1階で「**学生EMS大会議**」を開催することを企画しています。

私たちの活動内容報告に加え、「島根大学の環境面で思うこと」を議題とするグループトークを行う予定ですので、

学生EMS委員会に興味がある！島大のこの環境問題をどうにかしてほしい！と思った方々はぜひご参加ください。あなたの意見が島大を変える一歩となるかもしれません。



4. キャンパス内落ち葉清掃報告

11月13日（水）12時15分からの30分間、松江キャンパス内の落ち葉清掃を行いました。当日は、天候に恵まれ、約130名の学生、教職員の皆さんにご参加いただきました。お忙しい中ご協力いただき、ありがとうございました。皆さんのご協力により、短時間で多くの落ち葉が集まり、落ち葉に覆われていたキャンパス内はとてもきれいになりました。今回集められた落ち葉は、キャンパス内で循環させるべく、腐葉土の材料として「落ち葉堆積場」に集積させていただきました。この集積所に落ち葉を集められるように清掃日の数日前から園芸同好会の学生さんが準備をしてくれました。ありがとうございました。



5. 冬季節電の取組実行計画

政府の決定した「冬季の省エネルギーの取組について」を踏まえ、こん度『本学における節電の取組実行計画（冬季）』を定めましたので、学生・教職員が一段となって計画的な電力使用の抑制に積極的に取り組みましょう。

1. 実施期間 **令和元年12月1日～令和2年3月31日**
2. 節電目標 使用電力量について、前年度比**マイナス1%**とする。
30分間毎の使用最大電力量を契約電力3,000kw以下とする。

節電

室内温度は19℃に!

目標: 電気使用量前年度以下
例: 使用電力量を前年度比1%カット

電力1%の削減は7,000kWh=CO2削減約324,800kg-co2

電気ストーブ 53台分の電力削減
使用時間 1日9時間 4ヶ月

CO2削減24,800kg-co2は杉の木1,700本の植樹と同等

1,700本分のCO2削減

最大使用電力量3,000kW以下
無理せず、無駄なく、積極的に!

令和元年12月1日から
令和2年3月31日まで

島根大学 WARBIZ

具体的な節電対策

空調設備

- ・ 定期的なフィルター清掃
- ・ ウォームビズの徹底、強化
- ・ 室内温度の管理の遵守 (室温19℃)

照明設備

- ・ 使用していない部屋の消灯
- ・ 昼休みの完全消灯

教育研究等

- ・ 実験用フリーザー、製氷機の共同利用による台数制限
- ・ 実験用低温室、恒温室の共同利用による台数制限

OA機器設備等

- ・ 昼休みなど、席を離れる場合はパソコンの電源をこまめに切る
- ・ 電気ポット、コーヒーメーカー等の使用は極力控える
- ・ コピー機の省エネモード設定

6. 最後に

11月に入り、本格的に冬に突入したように感じます。島根の冬はとても寒いので、温かい服を着て体調を壊さないように気を付けてください。また、雪もたくさん降るので登下校や階段での転倒による怪我也心配です。

そして、乾燥するこの時期、なにより厄介なのはインフルエンザです。うがい手洗いなどの予防をしっかりと、掛からないように気を付けましょう。

何はともあれ、健康第一です
無理しすぎないように、自分をたいせつに

